

平成 25 年度 民間競争入札実施事業  
航空灯火施設維持工事等の評価（案）の概要

### 1. 業務内容及び契約期間

- (1) 業務内容：航空灯火の維持工事、保全業務  
 (2) 契約期間：平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで  
 (3) 応札者数：対象 4 空港のうち、2 者応札が 1 空港、1 者応札が 3 空港であり、詳細は以下のとおりである。

空港名	平成 24 年度	平成 25 年度	差
仙台空港	1 者	2 者	+ 1 者
成田国際空港	1 者	1 者	—
中部国際空港	1 者	1 者	—
関西国際空港	1 者	1 者	—

### 2. 実施状況に関する評価

- 確保すべき質として設定していた項目（①障害時の応急復旧未実施件数〈0 件〉、②作業員等の人身事故発生件数〈0 件〉、③施設の停止における航空機の運航停止件数〈0 件〉、④航空保安施設の停止件数〈0 件〉、⑤維持工事又は保全業務の確保すべき水準）について、全て目標水準を達成。
- 民間事業者からの提案により、業務の効率性の向上等が図られた。

### 3. 実施経費に関する評価

本事業の契約額は単年度当たり合計 200,550 千円であり、従来経費と比べて合計 5,460 千円（2.7%）の経費が削減されている。詳細は以下のとおりである。  
 （単位：千円）

空港名	従来経費 H24 (A)	契約額 (H25~H27 単年度換算) (B)	経費の増減 (C) = (B) - (A)	経費節減 割合 (D) = (C) / (A)	落札率差 小数点 2 位まで (H25-H24) (E)
仙台空港	43,260	42,350	▲910	▲2.1%	▲0.59%
成田国際空港	50,400	49,000	▲1,400	▲2.8%	▲3.14%
中部国際空港	54,600	54,600	0	0.0%	▲1.32%
関西国際空港	57,750	54,600	▲3,150	▲5.5%	▲1.16%
合計	206,010	200,550	▲5,460	▲2.7%	▲1.55%

### 4. 今後の事業について

本事業について、確保すべき質は全ての項目で達成し、実施経費も 4 空港にて 5,460 千円／年の削減を達成しており、一定の効果を得ることができた。また、受注者よりさらなる業務効率化等についての提案もなされた。

他方で、本事業については、幅広い者の参入を促すために入札参加資格要件の緩和等を行った結果、仙台空港において複数応札となったものの、その他の 3 案件は 1 者応札となっている。また、平成 23 年度から順次導入してき

たすべての市場化テストの実施を通じて、1者応札対策として様々な入札改善策を講じたものの、必ずしも競争性の向上にはつながっておらず、平成27年度開始事業に係る応札では、22空港中、17空港で1者応札の結果となった。その理由として、本事業は夜間作業が主体であること、保守技術要員の確保が困難であること、本事業で得たノウハウの他の分野への展開が見込めないことなどから、新規事業者の参入が困難であったことが考えられる。

したがって、本事業は実施状況が良好であったが、入札における競争性については市場化テストの実施だけでは即効的に改善しないものと考えられることから、本業務内容の特殊性に鑑み、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会）Ⅱ. 1.（2）の規定に基づいて、市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

以 上